学校番号	327

令和８年度　地理歴史科（普通科）

教科	地歴科	科目	歴史総合	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本」　（実教出版）						
副教材等	歴史総合　新訂版　演習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・18 世紀以降、日本は、世界と深い関わりをもちながら、発展してきた。この日本と世界とのつながりというグローバルな視点を持って、歴史を捉えられる資質を身につける。
・歴史的な出来事について「なぜ」という視点を持ち、今ならどうすべきであるのかを考える。
・変動する歴史の中で今を生きる生徒たちは、これから人類がどこに向かえばいいのかを考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・グローバルな視点を持ち、歴史を捉える資質・能力を育成する。
【思考力、判断力、表現力等】
・歴史的な出来事について理解した上で、問題が起きた時にその解決のために、人類はどうすべきであったのかを考える力と、ともに学ぶ学習集団と合意形成に向けて議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・日本と世界の歴史を学ぶ中で、現代社会を生きる生徒たちがどのような社会や未来を目指していくのかを考え、歴史を考察する理論をもとに現代の諸問題を解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・歴史的な出来事の意味を考察し、判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解するようにする。 ・グローバルな視野から、様々な資料を活用して、歴史的な出来事を判断できる技能を身に付けるようにする。	・歴史的な出来事を考察する手掛かりとなる考え方やグローバルな空間における基本的な考え方を活用する。 ・歴史的な出来事を多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や学習集団における合意形成を視野に入れながら、構想したことを議論する力を養う。	・歴史を学ぶことによって、今を生きる生徒たちが、より良い未来の実現を視野に、歴史的な諸問題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ・歴史の学びの中で、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、今を生きる人間としての在り方や生き方についての自覚を深めていく。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代への始動	1 江戸時代の日本と東アジア 2 江戸時代の政治 3 幕政の改革	a:幕藩体制や鎖国などの歴史的事実を理解している。 b:幕府の鎖国の理由、朝鮮や琉球との交流の理由など歴史的な問題を考察する。 歴史的な問題を議論する。 c:鎖国政策をとる日本が、清や朝鮮など近隣の国々と関わっていたこと、オランダを中心とした欧米諸国と関わったことによって、日本の歴史にどのような影響を与えたかなど歴史的な問題を主体的に探究できる。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表
	欧米の市民革命	4 産業革命とアメリカ独立	a:産業革命や独立戦争が世界に与えた影響など歴史的事実を理解している。 b:先住民の視点からアメリカの歴史を考察する、産業革命を担った労働者の立場から産業革命の頃の政治を考察するなど、多元的に歴史的な問題を考察する。 アメリカでの黒人問題など歴史的な問題を議論する。 c:産業革命がもたらした産業構造の変化や政治的な課題、新大陸における先住民問題など歴史的な諸問題を主体的に探究できる。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表

2学期	欧米の市民革命	5 フランス革命とウィーン体制 6 アメリカの発展 7 オスマン帝国の衰退 8 アヘン戦争と日本の開国 9 江戸幕府の滅亡	a:フランス革命やアメリカの発展、欧米先進国によるアジア侵略、江戸幕府の滅亡など歴史的事実を理解している。 b:フランス革命のおける恐怖政治や幕末期の攘夷、ナショナリズムの高揚などの歴史的な問題を考察する。 歴史的な問題を議論する。 c:人権思想などフランス革命が世界にもたらした影響を負の部分も踏まえて主体的に探究できる。 欧米先進国によるアジア侵略など歴史的な諸問題を主体的に探究できる。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表
	国民国家形成	10 イギリスフランスの繁栄・イタリア・ドイツの統一 11 明治政府の諸改革 12 日本の外交と国境問題	a:欧米諸国や日本における統一国家形成過程など歴史的事実を理解している。 b:明治維新の政策を国民の視点から捉えるなど歴史的な問題を考察する。 近代日本が選択した外交政策の是非を議論する。 c:朝鮮を中心とした、日本の諸外国との関わりなど歴史的な諸問題を主体的に探究できる。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表
3学期	国民国家形成	13 自由民権運動と大日本帝国憲法	a:自由民権運動の高まり、大日本帝国憲法の制定など歴史的事実を理解している。 b:なぜ、自由民権運動が過激化し、衰退したのか、大日本帝国憲法が持っていた課題など歴史的な問題を考察する。 自由民権運動が民衆間で熱狂的に広がった背景など歴史的な問題を議論する。 c:大日本帝国憲法にある課題などから、歴史的な諸問題を主体的に探究できる。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表

	帝国主義の時代	14 帝国主義の時代 15 朝鮮をめぐる国際関係 16 日清戦争後の東アジア 17 日露戦争と東アジア 18 日本の産業革命	a:帝国主義の時代に日本が選択した外交などの歴史的事実を理解している。 b:日本がなぜ朝鮮に侵略したのか、日露戦争以降も戦争で日本の活路を開こうとしたのはなぜかなど歴史的な問題を考察する。 歴史的な問題を議論する。 c:日清戦争や日露戦争がどのような歴史的な意味を持つのか。民衆の視点から見れば、日本は、近代以降、どのような選択をすべきであったのかなど歴史的な諸問題を主体的に探究できる。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表
	世界大戦の時代から戦後世界	19 第一次世界大戦 20 ロシア革命 21 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 22 第一次世界大戦後の欧米諸国 23 世界恐慌とファシズム 24 満州事変から日中戦争 25 第二次世界大戦と戦後世界の形成 26 日本占領と日本国憲法 27 朝鮮戦争から高度経済成長	a: 二度にわたる世界大戦がなぜ起こったのかを理解している。世界戦争の結果、どのような社会が日本や世界で形成されたのかを理解している。 b:二度の世界大戦に日本はどのように関われればよかったのかを現在の視点から考察できる。 c:二度の世界大戦及び戦後における日本の歴史を国民の視点から主体的に探究できる。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度